

JDMC『データマネジメントの基礎と価値』研究会

〈製作〉

- 秋田和之 (NECソリューションイノベータ株式会社)
- 東 智士 (JFEシステムズ株式会社)
- 鮎川尚正 (株式会社メトロ)
- 池田信威 (三菱ケミカルシステム株式会社)
- 石井 徹 (富士通株式会社)
- 井田貞治 (NTTコムウェア株式会社)
- 岩淵史彦 (株式会社日立コンサルティング)
- 海老原 吉晶 (オムロン株式会社)
- 大西浩史 (株式会社リアライズ)
- 加藤 俊 (ビジネスエンジニアリング株式会社)
- 加藤 稔 (富士通株式会社)
- 栗本孝治 (株式会社アシスト)
- 黒瀬達也 (富士通株式会社)
- 佐藤三史郎 (株式会社東京商工リサーチ)
- 鈴宮功之 (富士通株式会社)
- 田中 訓 (オムロン株式会社)
- 谷口直行 (日本電気株式会社)
- 中村 智 (東京海上日動システムズ株式会社)
- 西崎真澄 (株式会社アシスト)
- 西村正義 (NTTコムウェア株式会社)
- 波根 安芸生 (ビジネスエンジニアリング株式会社)
- 林 恵美子 (富士通株式会社)
- 本間雄太 (株式会社メトロ)
- 松永哲平 (JFEシステムズ株式会社)
- 水藤裕介 (株式会社日立製作所)
- 皆川恵祐 (伊藤忠テクノソリューションズ株式会社)
- 森 弘之 (JFEシステムズ株式会社)
- 森澤友博 (株式会社オープンストリーム)
- 安田裕司 (株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ)
- 谷内田 仁 (株式会社エヌ・ケイ)
- 山村哲司 (株式会社外為印刷)
- 山本真成 (東京海上日動システムズ株式会社)

〈ART DIRECTION〉

芦川美帆 (南雲デザイン)

〈SPECIAL THANKS〉

- 黒澤基博 (Metafind コンサルティング株式会社)
- 真野 正 (株式会社データアーキテクト)

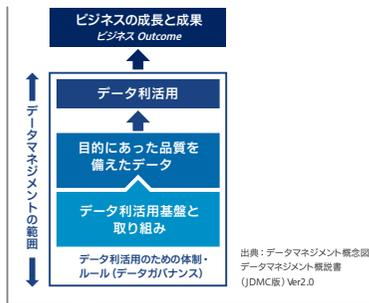
研究会の活動を一緒にしませんか？

JDMCの入会はこちらから！

JDMCでは会員を募集しています。会員になると研究会の参加のほか、会員限定イベントに参加できます。データをビジネスに活用する際の課題を一緒に考えませんか。ぜひお問い合わせください。

https://japan-dmc.org/about/?page_id=15

JDMC 検索



出典：データマネジメント概念図
データマネジメント概説書
(JDMC版) Ver.2.0

データマネジメントとは何か

データマネジメントとは、『データをビジネスに活かすことができる状態を継続的に維持、さらに進化させていくための組織的な営み』のこと。データを活用するためには、目的にあった品質を備えたデータ、データ活用基盤と取り組み、データ活用のための体制やルールがあってはじめて可能となる。中面で紹介した「5S」は、あくまでデータマネジメントを理解するためのヒント。データマネジメントについて理解を深めたいなら、以下の本で解説されているのでぜひチェックを。



データ管理や
利活用にもついで全体像を
把握できる教科書

データマネジメント概説書 (JDMC版)
Ver.2.0

ビジネスとITをつなぐ
—データマネジメントとは—
Amazon Kindle版 税込1,080円



データマネジメントを
推進するには
どうしたらいいか

データマネジメント・ケーススタディ
トップダウン編

『顧客満足度向上のための
業務横断データ活用』

Amazon Kindle版 税込400円



現場の目線から
どうデータマネジメントを
行うか

データマネジメント・ケーススタディ
ボトムアップ編

『始まりは品目検索への
クレームだった』

Amazon Kindle版 税込400円

電子書籍の購入はこちら
<https://amzn.to/39NBHxo>



データマネジメントを進めるための「5S」とは？

JDMC『データマネジメントの基礎と価値』研究会 2019年度

データマネジメントが進まない時は「5S」で考えると上手いく

データを活用し、新たなビジネスの価値を生みたい。
 しかし、データマネジメントを継続的に進めないと、データを活用し続けることは難しい。
 そこで、『データマネジメントの基礎と価値』研究会は、ハードルが高いと思われがちな
 データマネジメントを分かりやすいアプローチで提案。

データマネジメントの「5S」ができていれば、データ利活用が進められる

データ利活用の課題を「5S」で考えると……

データ利活用者の課題認識

- すぐにも活用したいのに準備に手間がかかっている。何とかならないのか？ 整理 整頓
- 同じセグメントで見たいのに入手元の定義がバラバラで扱いづらい 清潔 清掃
- データを活用するためのツールの整備やスキルの教育は誰がやってくれるの？ しつけ

データ管理者の課題認識

- 日々増えていくデータ量と種類（基幹データ、IoT……）、どう扱ったらいいの？ 整理 整頓
- 多様化するデータ利活用のニーズに対し、使えるデータの状態はどうやって維持したらいいの？ 清潔 清掃
- 気づくとデータが汚れている。ルールの策定と運用はどうしたらいいの？ しつけ

データマネジメントの 5S



「5S」をデータマネジメントに置き換えると、「しつけ」を中心に「整理」「整頓」「清掃」「清潔」が取り囲む。まずはできることからスムーズスタートし、継続的に「5S」を行うことが重要。